

第3回 区政会議を開催しました



12月6日(火)に第3回目の区政会議を開催しました。令和5年度の住吉区運営方針案について、子育て支援に関する複数の部署間の連携に関する意見をいただき、支援に関する情報の共有や支援調整ノウハウの習得などにより組織的な調整力の向上に努めていく方針を説明しました。また、前回会議から引き続き、区政運営へのアイデアや課題解決策について「地域の魅力」「こどもの成長」「共生社会の実現」の3つのテーマで議論を行いました。問 政策推進課 3階35番窓口 TEL 6694-9957 FAX 6692-5535



区民の意見を反映しました



問 総務課 3階33番窓口 TEL 6694-9625 FAX 6692-5535



「夜間に区役所敷地内で迷惑行為が行われている。敷地に入れないようにできないか。」とのご意見を受け、夜間、一部の出入口を閉鎖することとしました。皆様のご理解・ご協力をお願いします。

ご意見・ご要望への反映を
ホームページで紹介しています。

「窓口において申請等を行う際、手元が暗く資料等が見えにくい。」
とのご意見を受け、保健福祉課の窓口に卓上ライトを設置しました。

問 保健福祉課
2階26番窓口
TEL 6694-9857
FAX 6694-9692

詳しくは
こちら

歴史コラム すみよし歴史散歩

《 南朝と住吉 》

平安時代から住吉神社宮司・津守氏と京都の宮廷貴族とは和歌を通じて親交がありました。1330年(元徳2年)後醍醐天皇が比叡山大講堂の造営供養をされた折、第51代神主・津守国夏が舞楽の太鼓曲「獅子曲」を演奏したことで後醍醐天皇との結びつきができ、以降津守家は南朝方に立つことになりました。



▲後村上天皇 住吉行宮正印殿址碑(著者撮影)

1352年(正平7年)に後村上天皇は住吉に行幸し、津守国夏の館「正印殿」を行宮(仮の皇居)とされ、1360年(正平15年)再度行幸すると、1368年(正平23年)3月11日にここ

で崩御されるまでの約8年間「正印殿」を行宮とし、住吉が南朝側の首都となります。次の長慶天皇はここで即位された後、吉野へ移られました。その後は南朝と住吉の関係は薄らいでいきます。

住吉行宮のほかに南朝と関係する住吉の史跡としては、後村上天皇が、父後醍醐天皇の法要を二度営まれた莊嚴淨土寺があり、また、楠木正成の関連では正成の念持佛である毘沙門天王を本尊とする東福寺や、境内に楠木正成が奉納したと伝わる石灯籠がある極楽寺などがあります。

▲極楽寺
楠木正成寄進の
灯籠(著者撮影)

2月19日(日)に
「講談とまち歩き-南朝と住吉」を開催いたします
詳しくはNPO法人すみよし歴史案内人の会
TEL 6690-7723(月・水13:00~16:00)まで

執筆:NPO法人すみよし
歴史案内人の会 吉田進

▲莊嚴淨土寺
後村上天皇聖蹟碑
と歌碑(著者撮影)

マイナンバーカード 出張申請窓口開設 キャンペーン

マイナンバーカードの申請が
身近な施設でも可能に

申請を希望される人はホームページ
またはコールセンターから
事前予約をしてください。

詳しくは
こちら

所用時間 約20分



出張申請会場では
顔写真の撮影が無料です!



問 コールセンター TEL 4400-1856
(年末年始を除く9:00~20:00)

※広告の内容等、掲載された広告に関する一切の責任は広告主に帰属します。また、大阪市が推奨等するものではありません。